

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	通学路整備事業	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	8	2	3	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	貞方 敦雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	歩道整備に向け引き続き市道1号線歩道部の用地取得を実施し、市道49号線について修正測量を実施する。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	優先順位を見極めながら、用地取得を進めていく。
②①に基づく取り組み結果	市道49号線の修正測量を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	通学路に指定されている市道	意図(対象をどうするのか)	児童生徒が安全に登下校できるようにする。
②事務事業の概要	児童・生徒が安全に通学できるよう、歩道のない通学路に歩道を整備し、登下校における安全性の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成24年度に実施した緊急合同点検により対策が必要な通学路を抽出し、通学路の拡幅や歩道を確保し登下校時における児童生徒の安全を図る。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	市道1号線に係る物件調査及び不動産鑑定委託を実施した。 市道49号線の修正測量を実施した。(測量延長L=770m、現地測量A=4,000㎡)					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i 学校災害件数の割合	6.3	6.3	6.0	%	業務取得
	ii 事業費【平成24年度からの累計】	52,437	58,939	65,863	千円	決算書
	iii 工事延長【累計】	95	115	115	m	業務取得
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	6,502	6,924	金額(千円)	内容	113,106	
国支出金(千円)		1,700	1,458	市道49号線現況修正測量委託	55,121	
県支出金(千円)						
市債その他(千円)		1,200			40,500	
一般財源(千円)	6,502	4,024			17,485	

IV 評価・検討

①課題	道路の拡幅等中長期的な時間を要する要望に対しては、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	児童・生徒の通学路の安全性を早期に向上させる必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	市道1号線用地取得、市道49号線修正測量	平成29年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	市道1号線物件調査及び不動産鑑定委託、市道49号線修正測量	60,005	61,215	当初	60,005	6,924	H28からの繰越	0
				補正			現年分	6,924
③達成状況	未完了			流用・充当	1,210			
④未完了・非着手の理由	用地取得に至らなかったため。	平成30年度への繰越額(単位:千円) 54,281						

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	通学路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	関根 延年			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成28年度の学校やPTAの要望に基づき、指定通学路の環境整備を行う。なお、平成29年度は学区の変更に伴った安全対策を優先的に実施していく。また、自転車講習会など安全指導面も継続して実施する。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	平成29年度の要望に基づき、通学路の環境整備を行い、自転車講習会など安全指導面も継続して実施する。
②①に基づく取り組み結果	指定通学路上の環境整備を行い、安全指導面の自転車安全運転講習会やスクエアード・ストリート自転車安全教室も予定どおり実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の児童生徒及び通学路	意図(対象をどうするのか)	児童生徒が安全に安心して登下校できるようにする。
②事務事業の概要	第三次通学路安全対策推進行動計画に基づき、通学路の環境整備を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	ドライバーへの注意喚起や歩行者のための安全施設を設置することで、登下校時の通学路における児童生徒の安全を図る。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	平成29年度の学区変更に伴った安全対策を実施し、年度途中の要望についても可能な範囲で対応することができた。安全指導の面でも、小学校の自転車安全運転講習会やスクエアード・ストリート自転車安全教室を実施することができた。防犯面の対策として、通学路に子ども見守りカメラを17台設置した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i 学校災害件数の割合	6.3	6.3	6.0	%	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	14,440	21,998	金額(千円)	内容	15,000	
国支出金(千円)			18,956	工事請負費		
県支出金(千円)			1,736	樹木剪定委託		
市債その他(千円)			440	青色パトロールカー関係		
一般財源(千円)	14,440	21,998	562	スクエアードストリート自転車講習会安全教室業務委託	15,000	

IV 評価・検討

①課題	信号機設置や歩道拡幅は中長期的な整備となり、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	学校やPTAからの要望は多く、まずは可能な安全対策工事を実施し、中長期的な工事も行っていくため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	通学路整備工事や安全指導	平成29年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	環境整備工事を始め、安全指導も行った。	15,000	22,593	当初	15,000	H28からの繰越	0
				補正	7,593		
③達成状況	完了			21,998	現年分	21,998	
④未完了・非着手の理由		平成30年度への繰越額(単位:千円) 0					

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	児童生徒安全パトロール事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	関根 延年			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	学校や地域、青少年センターと情報共有し、通学路上や防犯上安全対策に必要な箇所を把握した上で、パトロールを実施していく。また、不審者情報等を得た場合も、パトロール員へ情報提供し、迅速に見守りを実施できるようにする。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	学校や地域、青少年センターと情報共有し、通学路を中心にパトロールを実施していく。
②①に基づく取組み結果	徒歩、車による市内全域のパトロールを行い、巡回箇所の強化や不審者情報への対応も強めることができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の児童生徒	意図(対象をどうするのか)	児童生徒のために安全な地域環境の維持を図る。
②事務事業の概要	市内の指定通学路や公園などにおいて、不審者等に対する警戒パトロール及び下校時の見守りを行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	パトロールによる犯罪の抑止を目的とし、下校時の見守りを中心に児童生徒の安全を確保していく。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	市内全域を12名6班体制でパトロールを実施した。また、夏休み等の長期休業の時は、児童生徒の集まる公園等も重点的に巡回した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	学校災害件数の割合	6.3	6.3	6.0	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳			平成30年度予算	
事業費(千円)	17,759	18,093	金額(千円)	内容		18,721	
国支出金(千円)			18,093	児童生徒安全パトロール委託			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	17,759	18,093				18,721	

IV 評価・検討

①課題	下校時間帯の不審者情報も多く見られ、学校や青少年センターとも連携して、迅速に対応していく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	通学路の安全確保は、継続的に行う事業であり、各関連機関と連携し、臨機応変に対応する必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	児童生徒の安全確保のため、パトロールの実施。	平成29年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	継続的に市内通学路を中心にパトロールを実施した。	17,849	18,122	当初	17,849	18,093	H28からの繰越	0
				H28⇒29繰越			現年分	18,093
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当	273			
		平成30年度への繰越額(単位:千円)						0

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学校給食運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	3	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	垣岡 俊男			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	食物アレルギー対応の除去食は7品目(卵・乳・落花生・えび・かに・小麦・そば)除去を目指しており、今後更なる拡充が必要。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	学校給食用食材における地産地消(鎌産鎌消)食材の拡充および学校との食育連携の取り組みと、食物アレルギー対応の第3段階に向けた検討を進めていく。
②①に基づく取り組み結果	食物アレルギー対応では卵・乳に落花生を加えた除去食提供を平成29年6月より実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内小中学校の児童生徒	意図(対象をどうするのか)	食育を通じて食の大切さを伝える
②事務事業の概要	市内小中学校14校に対して、安全で魅力ある学校給食を安定的に提供し、児童生徒の健康増進を図るとともに、食に対する理解を深める。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	栄養バランスの良さ、豊富な献立などの給食の充実や地産地消(鎌産鎌消)の拡充および食育の取り組みへの要望がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	①小中学校14校児童生徒 8,416人(平成29年5月1日現在)に対し年間184日の学校給食を実施、②アレルギー対応食(除去食)の提供、③栄養士による学校訪問(14校)、④センター見学(23クラス742人)、⑤展示・Facebookによるセンター紹介					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i 給食実施日数	184	184	184	日	業務取得
	ii アレルギー対応食の提供人数	5	8	8	人	業務取得
	iii 学校見学対応人数	590	737	742	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	903,222	849,631	金額(千円)	内容	856,351	
	国支出金(千円)		440,431	給食賄材料購入		
	県支出金(千円)		63,672	センター施設購入		
	市債その他(千円)		40,864	維持管理業務負		
	一般財源(千円)	903,222	849,631	291,634	運営業務負担	856,351

IV 評価・検討

①課題	学校給食センターにおける食育の更なる充実と平成30年度に向けた食物アレルギー対応第3段階への準備期間として、学校と協議し進めていく。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	食物アレルギー対応の除去食は7品目(卵・乳・落花生・えび・かに・小麦・そば)除去を目指しており、落花生を加え一段階進んだが今後更なる拡充が必要なため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	平成29年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H28からの繰越
		H28⇒29繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由			流用・充当		
	平成30年度への繰越額(単位:千円)				